

民主島根

2016年
3.27
第1259号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

選挙区は福島氏(鳥取・島根選挙区)を推薦

遠藤秀和氏は比例で全力

参院選での野党共闘の勝利、党の躍進必ず



「選挙区では福島氏を、比例では日本共産党を」と訴える遠藤氏ら(22日、松江市)。右下は、島根県庁での記者会見。



福島浩彦氏

日本共産党島根県委員会と鳥取県委員会は22日、島根県庁で記者会見を行い、参院鳥取・島根選挙区への遠藤秀和氏の擁立を取り下げ、無所属で立候補表明している福島浩彦氏(59歳、元消費者庁長官、民主党、社民党推薦)を党として推薦することを発表しました。

来、両県を奔走して野党共闘の実現と日本共産党の躍進を訴え、奮闘してきました。ご支援に心から感謝申し上げます」と述べました。そして、「野党間の協議、福島氏との協議を重ね、福島氏で野党統一候補を一本化する運びとなりました。5野党党首で合意された4点の合意事項の実現をめざすこと、日本共産党を含む野党の共闘が必要との合意を福島氏と文書で確認。民主党、社民党、新社会党とも5野党合意を踏まえて福島氏を野党統一候補とすることを確認しました」と経過を報告しました。

川本町議選 山口節雄氏の勝利を
大平喜信議員を迎えて演説会



今後、「住民目線で政治を変える会・山陰」の呼びかけで、島根・鳥取の両県
しまね総がかりが宣伝行動
共産・民主・社民各党も訴える

の野党が勢ぞろいする記者会見が行われる予定です。実行委員会は19日、県内8市町で宣伝や戦争法廃止の2千万署名に取り組みました。

「しまね総がかり行動」は19日、県内8市町で宣伝や戦争法廃止の2千万署名に取り組みました。

日本共産党の大平喜信衆院議員を迎えた演説会が13日、川本町で開かれました。4月12日告示・17日投票の町議選勝利に向け、心を一つにしました。(写真) 三宅実町長も参加しました。

大平氏は、くらしや憲法、平和などあらゆる分野での安倍政権の暴走を厳しく批判し、「この間の党の躍進が野党共闘の支えになっている。さらに躍進も参加しました。」



民青が「戦争法廃止」宣伝 島大前で署名に応じる学生が次々

民青同盟県委員会は12日、松江市の島根大学を受験した学生らに戦争法廃止2千万署名の協力を呼びかけました。(写真) 村上万里県委員長らが「若者を戦争に送る法律をなくすための署名です」と話す中、「戦争法廃止」の署名に応じる学生が次々集まりました。

鼓動 「一緒にいることがストレスなの...」。長年連れ添った妻からのキツイ一言。熟年離婚に真正面から切り込んだ、山田洋次監督の久々のコメディ映画「家族はつらいよ」を観て、「明日は我が身かも」と思った御同輩も多いのでは...▼老夫婦と3人の子どもたちのつれあいや恋人をまきこんで起こる一家の大混乱。丁々発止の家族ゲンカも織り込まれているが、なぜか笑って見られる。山田監督は「東京家族」での夫婦・恋人役たちのアンサンブルに惚れ込み、同じキャストで今度は喜劇に仕立てた▼なぜ喜劇、なぜゲンカなのか。山田監督いわく「世の中、デジタル技術の発達とともに人間関係が希薄になっていく方向にある。だから家族が大ゲンカする映画が作りたくなった。つまり家族が大ゲンカしなくなっちゃった時代だからかも」。そして「(大ゲンカに) 憧れを込めて描いた。演じる人たちは憧れをこめて演じている」と▼離婚騒動から緊急入院へと大混乱の展開を見せてクライマックスへ。土壇場にきて「妻は長年連れ添ったのだから、言葉にしなくても俺の気持ちはよくわかってるはず」という無愛想で頑固な老いた夫。そのかたくな心を開いたのは、次男の恋人の「言葉にしなれば伝わらないこともあるのでは」との一言だった▼映画館には中高年の女性が多く、みんな領き、共感しながら観ていたようである。そして、定年を迎えた男の我が身としては、笑いの中にも所々身につまされる思い。と同時に、いつまでもそれぞれの人格を尊重し「親しき仲にも礼儀あり」が必要だとの思いにかられた。夫婦が長年連れ添うとはどういうことなのか。これを機にじっくり考えるのでもいいのでは。(吉)